

令和5年11月21日 教育委員会会議録

- 1 日 時 令和5年11月21日（火） 午後3時～午後4時
- 2 場 所 10階 委員会開催室
- 3 出席委員 金沢智也教育長、白鳥樹一郎委員、中村篤委員、細谷真紀子委員、伊藤洋子委員
- 4 出席者 高橋一実教育部長、大沼裕子事務局次長、西村尚人教育企画課長、横山いずみ教育総務課長、細谷直樹次長（兼）学校教育課長、佐藤哲也社会教育青少年課長、小関仁美少年自然の家所長、阿部宏図書館長、斎藤浩之学校給食センター所長（兼）栄養管理室長、志済直史商業高等学校事務長、馬場賢総合学習センター所長、事務局（教育企画課及び教育総務課職員）

会議次第

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 議 案
 - 議案第35号 教育財産（可搬式冷房機器）の取得申出について
 - 議案題36号 市議会の議決を経るべき議案に係る市長への意見の申出について
（令和5年度教育費12月補正予算について）
 - 議案題37号 令和6年度震災による福島県等からの山形市立商業高等学校への受検に係る実施要項について
 - 議案題38号 令和7年度山形市立商業高等学校入学者選抜基本方針について
- 4 報 告 事 項
 - （1）教職員の資質・能力の向上に関する研修のあり方について
- 5 そ の 他
- 6 日 程 等
 - （1）教育委員会の日程について
 - （2）教育委員会主催（共催）の行事予定について
- 7 閉 会

会議録

1 開 会 教育長

2 会議録署名委員の指名

教育長…本日の会議録の署名委員は、中村委員にお願いしたい。

3 議 案

教育長…本日の議事に入る前に「会議を公開しないこと」について、お諮りする。

本日の議案第35号「教育財産（可搬式冷房機器）の取得申出について」及び議案第36号「市議会の議決を経るべき議案に係る市長への意見の申出について（令和5年度教育費12月補正予算）」は、山形市教育委員会会議規則第7条第1項第5号（市長又は議会に対する意見の申出及び市長その他関係機関との協議等を必要とする事項）に該当する案件であることから、「会議を公開しない」こととして審議してよろしいか。

（全委員、異議なし。）

教育長…それでは、議案第35号及び議案題36号については「会議を公開しない」こととして審議し、その会議録等についても非公開とする。

<以下、非公開>

<非公開解除 以下公開>

教育長…次に、議案第37号「令和6年度震災による福島県等からの山形市立商業高等学校への受検に係る実施要項について」説明をお願いします。

<学校教育課長より説明>

教育長…ただ今の説明について、意見や質問等はあるか。

伊藤委員…福島県から山形県に来ている方でこの対象に該当しない方はいるのか。

学校教育課長…こちらで把握している数は、震災避難者ということで罹災証明を持ってきている方の数である。そういった方以外で、福島県から山形県に来ている方は把握していない。

教育長…他に意見や質問はあるか。

<各委員より「なし」の声>

教育長…それでは、議案第37号について、原案のとおり承認してよろしいか。

<各委員より「はい」の声>

<原案のとおり承認>

教育長…次に、議案第38号「令和7年度山形市立商業高等学校入学者選抜基本方針について」説明をお願いします。

<学校教育課長より説明>

教育長…ただ今の説明について、意見や質問等はあるか。

伊藤委員…この基本方針に入るのか分からないが、入学者のうち、合理的配慮をお願いしたいという事例の対応はあるのか。また、入学の検査内容に含まれるものではないのか。

学校教育課長…入学の検査については、基本方針ではなく要綱により定めている。
基本的には中学校校長が高校校長に相談する形で合理的配慮が行われると認識している。

また、事例は山形商業高校では教育委員会に報告される大きな事例は聞いたことがない。他の県立高校ではそのような配慮があったと聞いている。再度、確認する。

教育長…他に意見や質問はあるか。

<各委員より「なし」の声>

教育長…それでは、議案第38号について、原案のとおり承認してよろしいか。

<各委員より「はい」の声>

<原案のとおり承認>

4 報告事項

教育長…それでは報告事項に移る。「(1)教職員の資質・能力の向上に関する研修のあり方

について」説明をお願いします。

<学校教育課長より説明>

教育長…ただ今の説明について、意見や質問等はあるか。

白鳥委員…教育委員会委嘱研究についての確認になるが、1年間の期間で、ある程度の目的を完結する研究であると捉えているが、この中で若手教員・ミドルリーダーの育成があり、この研究は授業公開時にその研究成果を発揮し、育成を図るというねらいであると理解してよいのか。

また、この研究は自分で立候補制での参加なのか、指定した教員での参加なのか。最後に、1年に何校くらいを考えているのか教えてほしい。

学校教育課長…最初の質問はご指摘のとおりである。若手教員の研修の場として、授業を見て話し合う場としている。若手教員が増えているなか、このような研究会に参加する教員は、活発な意見交換を行い、授業について学んでいる様子が見受けられる。このような実績からより研究を進めていきたいと考えている。

その中で、ミドルリーダーと一緒に授業づくりをしてもらうことで、ミドルリーダーとしての指導的な立場を含めて、資質能力の向上もねらっていきたいと考えている。

また、委嘱研究は手をあげる立候補制と考えている。学校数は、3～5校程度を考えている。

しかし、教科担任制やチーム担任制、授業数の見直し等の様々な課題があるため、そのような課題に対応できるような研究ができればと考えている。

白鳥委員…特別支援教育の充実に向けて、県の研修制度である長期研修による特別支援関係の出身や大学院への派遣制度等の山形市の現状はどのようになっているのか。

学校教育課長…現在、長期研修は参加者がいない状況となっている。教員不足が続いており、研修で3か月から1か月程度空けてしまうと代替者を置かなくてはならない状態となり、代替者も不足している現状では、長期研修は参加しづらくなっていることは否定できない。大学院への派遣研修については、毎年1名から2名参加しているが、特別支援については残念ながら参加していない。そのようなことも含めて、特別支援の中核となる教員育成について、検討できるか県と相談していきたい。

白鳥委員…特別支援教育の免許を取得している教員を増やすため、免許取得講習の斡旋する（声がけ）とあるが、その他によい手段はないのか。

学校教育課長…この特別支援の中核となる人材育成のための研修に参加する教員に対して声が

けすることで、取得率も上がるのではないかと考えている。

伊藤委員…特別支援教育の充実に向けた教職員研修について、市内各校で特別支援コーディネーターをされている先生がいると思うが、免許取得者でも学校現場にあまり詳しくない方も対象になると考えていいのか。

学校教育課長…研修へ参加する対象者は、免許取得者に限定するものではない。特別支援コーディネーターの教員等を含め、特別支援教育に理解のある先生方から研修に参加してもらいたいと考えている。教員は、転勤した学校でも同じ仕事ができるというわけではないため、校長会と連携しながら、自ら進んで特別支援教育に力をいれていきたいという意思がある方にお願ひし、転勤してからも同じ立場で仕事ができる形をつくっていきたい。

教育長…他に意見や質問はあるか。

<各委員より「なし」の声>

5 その他

教育長…委員よりその他意見や質問等はないか。

<各委員より「なし」の声>

教育長…事務局よりその他報告等はないか。

<事務局より「なし」の声>

6 日程等

7 閉会 教育長